

2023年12月期 決算説明会

株式会社西部技研（証券コード: 6223）

2024年2月14日

将来見通しに関する注記

本資料に掲載されている見通し数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性がございます。



アジェンダ

1 2023年12月期 実績

2 2024年12月期 業績予想

3 中期経営計画 2024-2026

4 Q&Aセッション

エグゼクティブサマリー

2023年12月期決算

- **売上高**： 28,725百万円（前年比115.4%）
北米及び日本でのEV用電池製造工場向けの出荷が好調だったため**増収**
- **営業利益**： 4,298百万円（前年比93.4%）
以下の要因による販売費及び一般管理費の増加により**減益**
 - ① 当社の上場に伴う管理部門強化、及び当社グループの営業力強化に伴う人件費増加
 - ② 中国市場での昨年増収分のうち今期回収したものに対する営業人員へのインセンティブ増加
 - ③ 物価上昇に伴う運賃増加
- **10/3公表の通期見通しとの乖離**
売上総利益（▲528百万円）：主な要因として、日本におけるNMP回収装置設置工事の工期が遅延等
営業利益（▲937百万円）：中国子会社の営業人員へのインセンティブの増加及びスウェーデン子会社での貸倒引当金繰入額の増加等により販売費及び一般管理費が増加
- **株主還元**： 年間配当60円（内訳：普通配当50.22円、上場記念配当9.78円）

2024年12月期ガイダンス

- **売上高**： 33,417百万円（前期比 116.3%）、**営業利益**： 4,434百万円（前期比103.2%）
北米および欧州でのEV用電池製造工場向けの好調な受注により**増収増益見込み**
- **株主還元**： 配当性向40%を目安に年間配当70円を実施する計画

2023年12月期 通期実績



2023年/12月期 通期実績

(単位：百万円)	2022年/12月期		2023年/12月期		前年比		2023年/12月期 通期見通し ^{*3}	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	比率 (%)	金額	達成率 (%)
売上高	24,890		28,725		3,834	115.4	27,147	105.8
売上総利益	10,049	40.4	11,168	38.9	1,119	111.1	11,697	95.5
販売費および一般管理費	5,444	21.9	6,870	23.9	1,425	126.2	6,461	106.3
営業利益	4,604	18.5	4,298	15.0	▲ 306	93.4	5,235	82.1
経常利益	4,783	19.2	4,361	15.2	▲ 422	91.2	5,267	82.8
親会社株主に帰属する当期純利益	3,908	15.7	3,431	11.9	▲ 476	87.8	4,075	84.2
1株当たり当期純利益 (円)	195.56		180.14		-	-	213.96	-
EBITDA ^{*1}	5,500		5,191		▲ 308	94.4	6,151	-
EBITDAマージン ^{*2} (%)	22.1		18.1		-	-	-	-

*1: EBITDA = 営業利益 + 減価償却費にて算出

*2: EBITDAマージン = EBITDA/売上高

*3: 2023年/12月期通期見通し：2023年10月3日公表分

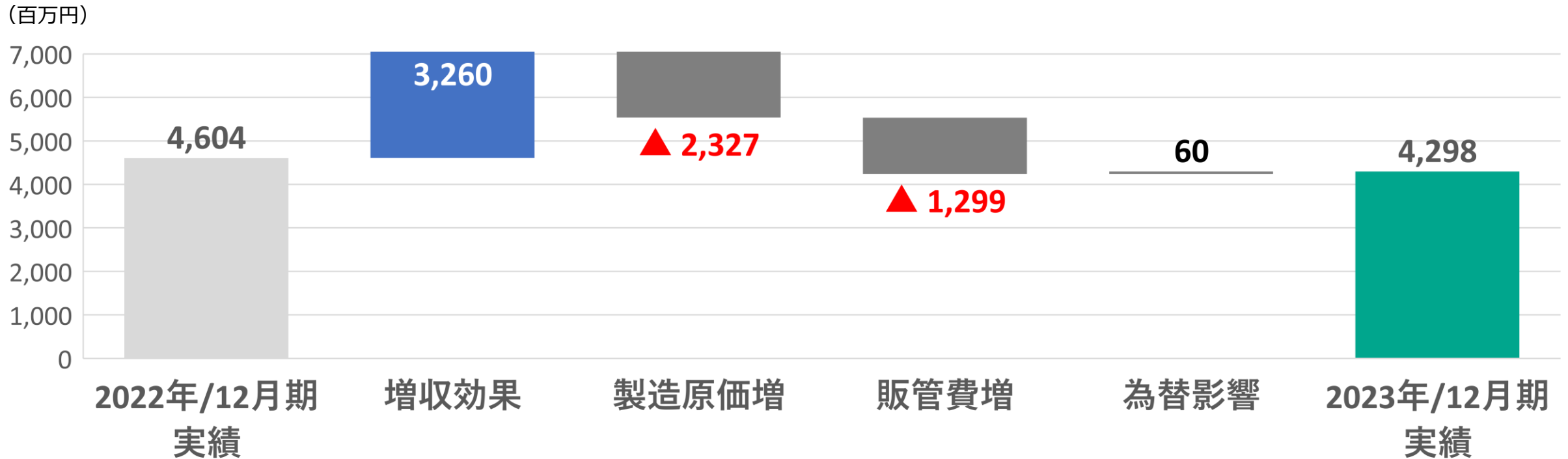
対前年

- 売上高 (+3,834) : 主要因はEV用電池工場向けの好調な出荷（中国の業績については、景気低迷による競争激化のため価格戦略に踏み切った結果、粗利率は低下したものの売上高は伸長）
- 営業利益 (▲306) : 主要因は販管費の増加（中国子会社の営業人員へのインセンティブ増加等による人件費の増加や物価上昇に伴う運賃の増加等）

対計画

- 売上総利益 (▲528) : 主要因は日本におけるNMP回収装置設置工事の工期遅延等
- 営業利益 (▲937) : 中国子会社の営業人員へのインセンティブ増加及びスウェーデン子会社での貸倒引当金繰入額の増加等により販管費が増加

営業利益の減少要因（前期比）



注：前年同期の数字は未監査の数値

- 増収効果：北米及び日本でのEV用電池製造工場向けの出荷等が増加
- 製造原価：出荷量の増加、中国での価格戦略等による原価率の上昇
- 販管費：各地域の人件費増加、出荷量増加及び物価上昇による運賃増加
- 為替影響：円安の影響により若干のプラス

製品別売上高

(単位：百万円)	2022年/12月期	2023年/12月期	前年比(%)
デシカント除湿機	15,931	18,551	116.4
VOC濃縮装置	6,539	7,305	111.7
その他	2,419	2,868	118.6
合計	24,890	28,725	115.4

EV用電池の製造工場への投資が増加傾向にあり、米国及び日本でのデシカント除湿機の場合受注が好調。特に米国では2022年8月に成立した米国インフレ抑制法（Inflation Reduction Act, IRA）によるEVシフト加速に伴う電池工場への投資が堅調であり、米国及び日本でのデシカント除湿機の売上増加が、デシカント除湿機全体の増収に寄与。

VOC濃縮装置については、国内で電池製造過程で使用される溶剤（NMP）を回収する用途での売上が伸びており、前年比増。

地域別売上高

(単位：百万円)	2022年/12月期	2023年/12月期	前年同期比(%)
日本	4,995	7,189	143.9
中国	11,255	11,606	103.1
その他アジア	4,046	3,820	94.4
ヨーロッパ	3,134	2,546	81.3
北米	1,202	2,932	243.8
その他	257	629	245.1
合計	24,890	28,725	115.4

EV用電池工場への投資が増加傾向にあり、日本市場及び米国市場の売上が堅調に伸長。
中国では景気悪化に伴う投資案件の減少により伸びが鈍化。
その他アジアに含まれる韓国では、小規模事業者向けの補助金が減額されたことでVOC濃縮装置への投資が軟化。
ヨーロッパではEV投資減速傾向のため前年比で売上減。

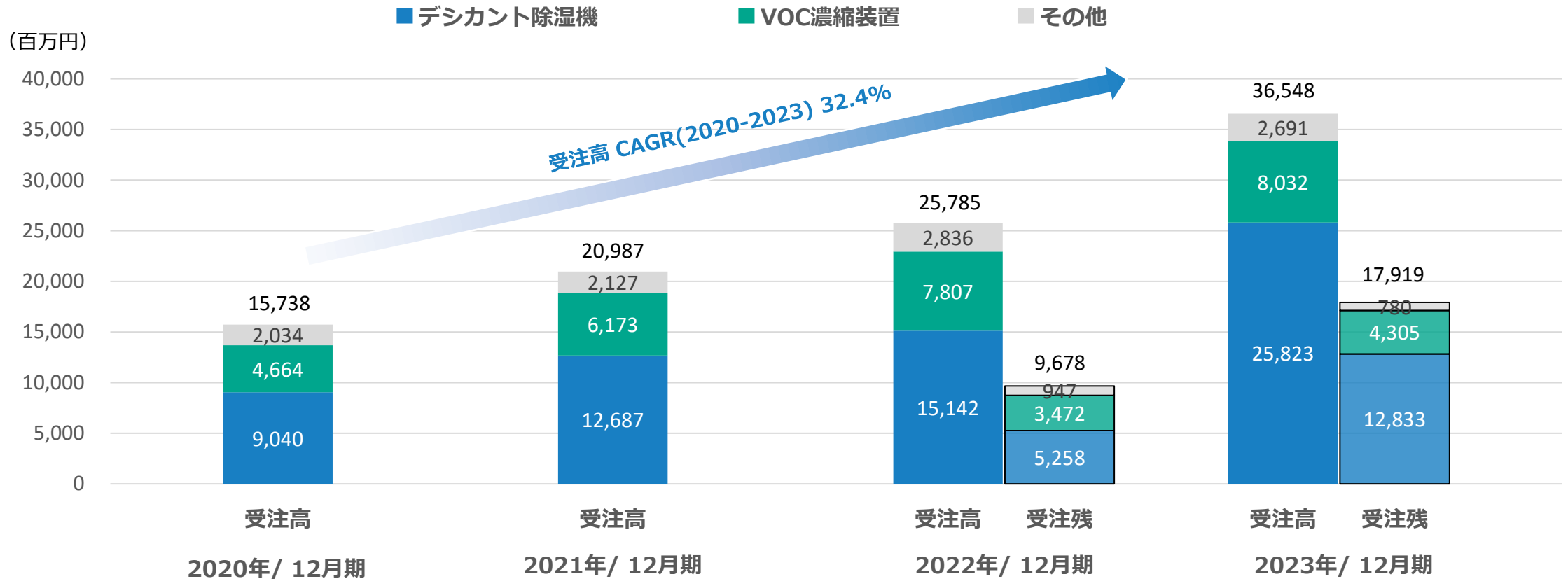
連結貸借対照表

(単位：百万円)	2021年/12月期	2022年/12月期	2023年/12月期
現金及び現金同等物	7,674	9,803	11,638
受取手形及び売掛金	4,214	5,970	8,309
その他流動資産	5,120	6,405	8,429
有形固定資産	7,891	8,181	10,216
その他固定資産	743	746	741
資産合計	25,642	31,105	39,334
有利子負債 ^{*1}	5,198	5,413	2,599
その他負債 ^{*2}	6,346	7,943	9,939
負債合計	11,544	13,356	12,539
純資産合計	14,097	17,748	26,795

*1：有利子負債 = 短期借入金 + 1年内返済予定の長期借入金 + 長期借入金 + リース債務

*2：その他負債 = 負債総額 - 有利子負債

受注高および受注残の推移



注：上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれていません

2023年12月期の受注高は前年比141.7%、2023年12月末の受注残は前年比185.2%と堅調に伸長

2024年12月期 業績予想



2024年/12月期 通期見通し

(単位：百万円)	2023年/12月期		2024年/12月期 見通し		前年比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	比率 (%)
売上高	28,725		33,417		4,691	116.3
売上総利益	11,168	38.9	11,497	34.4	329	102.9
販売費および一般管理費	6,870	23.9	7,063	21.1	192	102.8
営業利益	4,298	15.0	4,434	13.3	136	103.2
経常利益	4,361	15.2	4,577	13.7	216	105.0
親会社株主に帰属する当期純利益	3,431	11.9	3,660	11.0	228	106.7
EBITDA ^{*1}	5,191		5,379		187	103.6
EBITDAマージン ^{*2} (%)	18.1		16.1		-	-

*1: EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 にて算出

*2: EBITDAマージン = EBITDA/売上高

北米及びヨーロッパのEV用電池製造投資案件の増加に伴い増収、増益を見込む

製品別売上高

(単位：百万円)	2023年/12月期	2024年/12月期 見通し	前年同期比(%)
デシカント除湿機	18,551	20,619	111.1
VOC濃縮装置	7,305	9,716	133.0
その他	2,868	3,081	107.4
合計	28,725	33,417	116.3

北米およびヨーロッパでのEV用電池の製造工場投資増加に伴うデシカント除湿機の大型案件を見込む。
VOC濃縮装置については、近年伸長しているEV用電池製造過程で使用される溶剤（NMP等）を回収する用途での大型案件を見込む。

地域別売上高

(単位：百万円)	2023年/12月期	2024年/12月期 見通し	前年同期比(%)
日本	7,189	8,402	116.9
中国	11,606	9,956	85.8
その他アジア	3,820	4,118	107.8
ヨーロッパ	2,546	5,642	221.6
北米	2,932	4,701	160.4
その他	629	595	94.5
合計	28,725	33,417	116.3

EV用電池工場への投資が増加傾向にあり、日本、北米及びヨーロッパの売上が伸長する見込み。
中国では景気悪化に伴う投資案件の減少により減収。

中期経営計画 2024-2026

将来見通しに関する注記

本資料に掲載されている見通し数値並びに将来予測は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断・作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。



目論見書から抜粋

「...当社グループは、2022年12月期より、新中期経営計画『Regeneration 1』をスタートさせ、その目標達成に向けて各種施策に取り組んでおります。」

**以下の理由から、
2024年12月期から新たに中計を仕切り直し、
本日開示することに致しました。**

- 株主・投資家の皆さまに当社の成長戦略についてより良くご理解頂く
- グループ一体となって成長を目指す
- 市場動向の急激な変化（特に中国市場）に対応

あらゆる空気に、あらたな価値を

パーパス

環境に優しい空気のソリューションを届ける。

パーパスの実現を通し、あらたな価値を提供することで、企業価値と社会価値の両立を図る

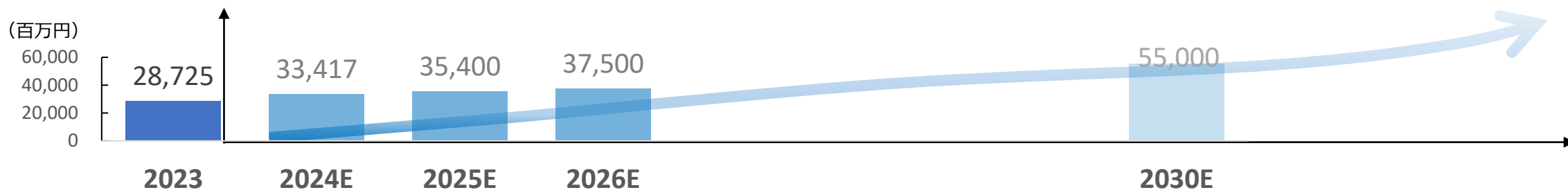
2024～2026年 中期経営計画の基本方針

1. コア事業で市場シェア拡大
2. 成長事業の本格始動
3. グループガバナンスの強化

新中期経営計画の位置づけ

2030年のビジョン実現に向けての第1フェーズとして、持続的成長の土台づくりのための3年間

クライメイト・ニュートラルな未来実現のため、空気処理技術のイノベーション・リーダーであり続ける。



2023年
時点

**第1フェーズ
新中期経営計画
2024～2026年**

成長の土台づくり

- ・コア事業で市場シェア拡大
- ・成長事業の本格始動
- ・グループガバナンス強化

**第2フェーズ
中期経営計画
2027～2029年**

成長事業の安定化

- ・成長事業の安定収益化
- ・成長投資の成果刈り取り

**第3フェーズ
中期経営計画
2030～2032年**

ビジョンの実現

- ・成長産業への参画による持続可能な経営
- ・連結営業利益90億円超の常態化

営業利益率

15.0%

14%

EBITDA率

18.1%

18%

ROE

15.4%

14%

17%以上

21%以上

18%以上

財務主要KPI目標

中国景気の足下不透明を乗り越え、下記指標について確実に目標収益を実現

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 計画	…	2026年度 目標	…	2030年 展望
営業利益率	10.6 % (12.5%)	18.5 % (15.3%)	15.0 %	13.3 %	…	14 %	…	17%以上
EBITDAマージン	15.3 % (16.9%)	22.1 % (19.3%)	18.1 %	16.1 %	…	18 %	…	21 %以上
ROE	13.1 % (15.7%)	24.5 % (18.8%)	15.4 %	13.1 %	…	14 %	…	18 %以上

注：

ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益（直近本決算実績） / 自己資本（直近本決算実績：期首期末平均）、自己資本 = 純資産（直近本決算実績） - 非支配株主持分（直近本決算実績）
()の数値は、連結ベースの数値から為替の影響を除き、売上計上期ずれの影響分を2022年12月期から2021年12月期へ移行した数値（為替調整含む）

コア事業の欧米市場シェア拡大、及びエンジニアリング事業拡大による継続的な利益成長

ターゲット

- エナジーデバイスメーカー全般、及びモビリティ用電池メーカー
 - ・ 北米、日本、韓国から始動
- 半導体メーカー

重点施策

- **コア事業**
 - 投資が盛んな地域のデシカント除湿機市場シェア拡大（北米・欧州）
 - 各地域の設備投資による生産能力増強で競争力向上
 - ローター交換需要喚起によるサービス事業の海外展開
- **成長事業**
 - エンジニアリング事業の拡大と海外展開（米国、韓国）
 - サービスDX事業拡充により未来につながる収益と安定基盤の確立
- **グループガバナンス強化で安定経営**

投入資源

- **コア事業**
 - 営業及びサービス要員（北米・中国）
 - ローター及び組立ての生産能力増強
 - ・ 2024年2月 米国組立工場稼働、3月 ポーランド組立拡張工場稼働
 - ・ 2025年7月 宗像第2工場（除湿ローター）稼働
 - ・ 2026年 中国板金工場稼働
- **成長事業**
 - エンジニアリング事業の海外展開準備費用（現地施工体制構築等）

従来の機器販売に加え、今後は、これまで国内で展開してきたソリューション提案を海外に拡充

従来

装置・機器販売 中心

プロダクトアウト

顧客の最適な製造環境と環境負荷
低減に寄与する機器・装置



今後

装置・機器販売
+
ソリューション提案 注力へ

マーケットイン

顧客の最適でエコな空気環境



EV電池・次世代電池

世界市場トレンド

- エナジーデバイスのインフラ産業化
- 主要各国の脱炭素化政策・法規制

当社が提供する価値

デシカント除湿機、ドライルーム

- 最終製品の安全性担保
- 製造工程のロス削減

NMP回収システム

- 溶剤使用後の再利用

ドライミニエン™

- 環境エンジニアリング

省エネ外調機

- ランニングコスト削減

半導体

世界市場トレンド

- 自動運転技術
- IoT、DX、GX
- 生成AIの普及

当社が提供する価値

VOC濃縮装置、省エネ外調機

- 環境保全、大気汚染法規制遵守
- CO2排出量削減
- ランニングコスト削減

ミニエン™

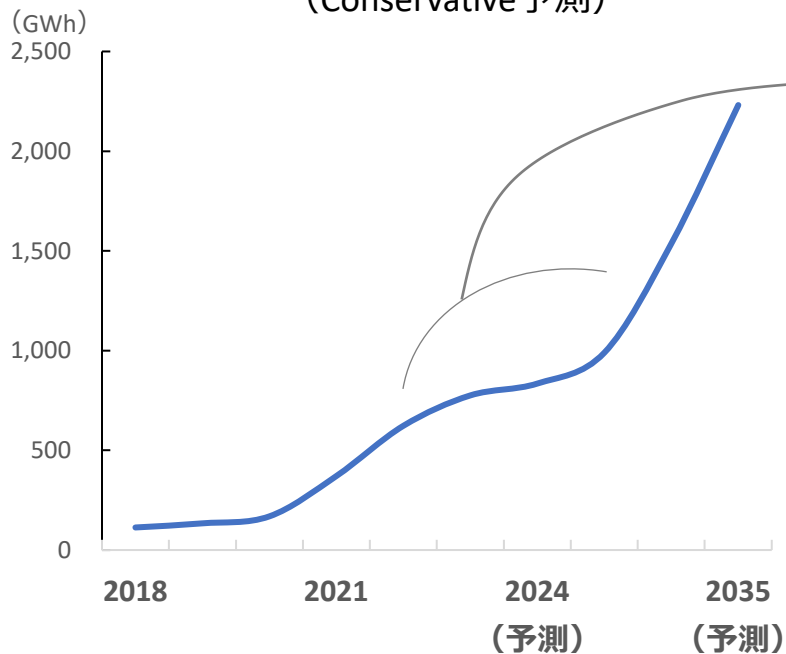
- 環境エンジニアリング
- Class1 クリーンルーム
 - 半導体製造工程のロス削減、最終製品の品質担保、省エネ化



EV電池市場の成長予測

今後10年間はEV電池市場の継続的な伸びが見込まれている。
その中でも北米市場で、日系及び韓国系電池メーカーの投資が2024～2026年にかけて活況。

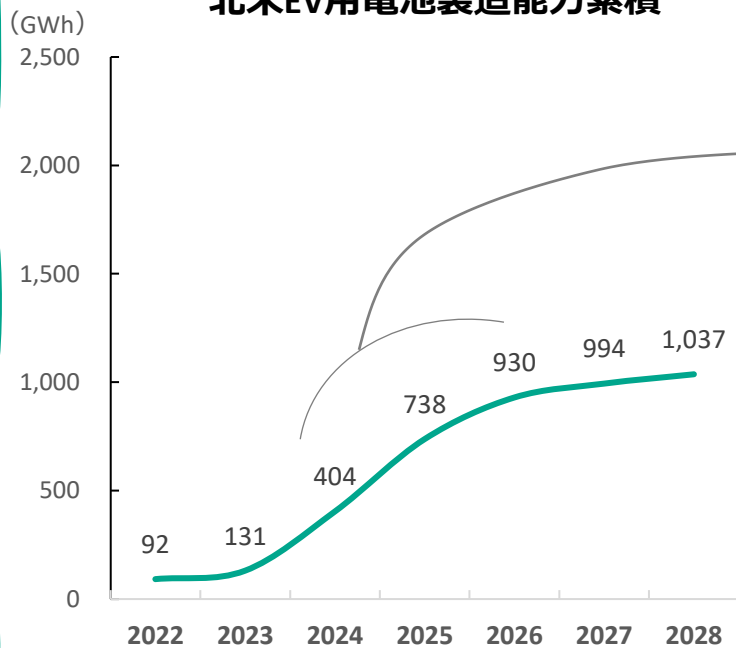
車載用LiB世界市場規模推移・予測* (Conservative予測)



出典：矢野経済研究所「車載用リチウムイオン電池世界市場に関する調査 (2023年)」2023年12月28日発表、Conservative (市場ベース) 予測より当社作成

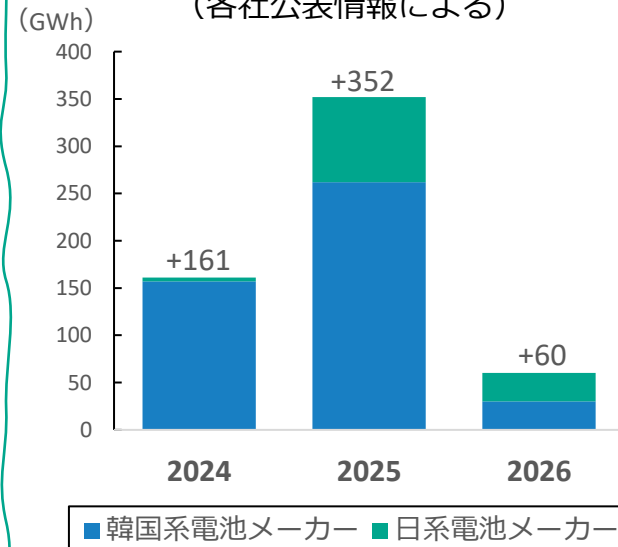
注* 乗用車及び商用車の電気自動車、PHEV、HEV、MHEV (48VのMHEV, SSV, 一部12V)に搭載されるLiBを対象とし、2022年まではLiBメーカーによるLiB出荷ベースで、2023年はLiBメーカーによるLiB出荷ベース並びにxEVメーカーのxEV生産ベース、2024年以降はxEVメーカーのxEVの生産ベースでLiB容量を矢野経済研究所が算出、2023年は見込値、2024年・2025年・2030年・2035年は予測値

北米EV用電池製造能力累積



出典：Environmental Defense Fund (2023). U.S. Electric Vehicle Battery Manufacturing on Track to Meet Demand. [EDF Analysis on US Battery Capacity 12.13.23 final v3.pdf](#) より当社作成

日韓車載用LiBメーカー 北米工場投資計画 (各社公表情報による)



出典：各社発表情報より当社作成



EV電池製造投資の現状

北米と日本市場では、政策によるEV化加速に伴い投資増加が見込まれている



中国

- 従来の財政補助により実力を伴わないメーカーが乱立し、市場淘汰が進む
- 需要に対して生産過剰
- 国内主要メーカーは他国、特に近年は欧州や東南アジア進出へ舵を切っている



北米

- 2023年IRAによりEV化の加速
- 2026年にかけて日系・韓国系電池メーカーが北米投資を計画



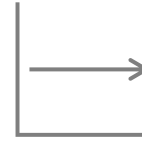
日本

- 2022年8月「蓄電池産業戦略」(経産省)による電池関連投資の増加
 - ・ 2030年までに国内150GWh/年、世界600GWh/年の製造能力確立を目指す
- 全固体電池実用化に向けての開発加速



欧州

- 2023年より大手メーカーの工場投資延期
- 長期的には成長が見込まれるが、直近は、EVの補助金や税制優遇の段階的打ち切りによる需要停滞





電池領域での当社の戦略的方向性

- ① デシカント除湿機の安定供給継続とともに、海外サービス事業を拡充する
- ② 車載用電池製造の最適環境創出のトータルエンジニアリングを提供する

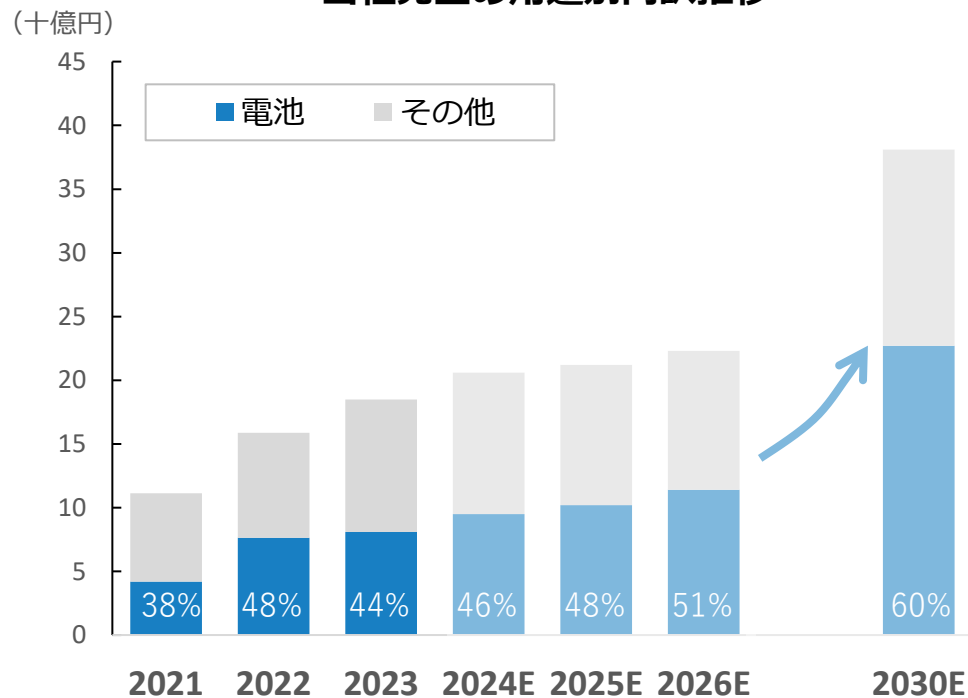
装置・機器販売

デシカント除湿機
製造工程の湿度制御

装置・機器販売
+
ソリューション提案

トータルエンジニアリング
電池製造の最適空間創出

当社売上の用途別内訳推移



ドライ空間

- デシカント除湿機
- ドライルーム
- ドライブース

低酸素空間

- 循環型窒素精製機
- 窒素ガスブース

循環型エコシステム

- 溶剤回収システム

低ランニングコスト空調

- 省エネ外調機



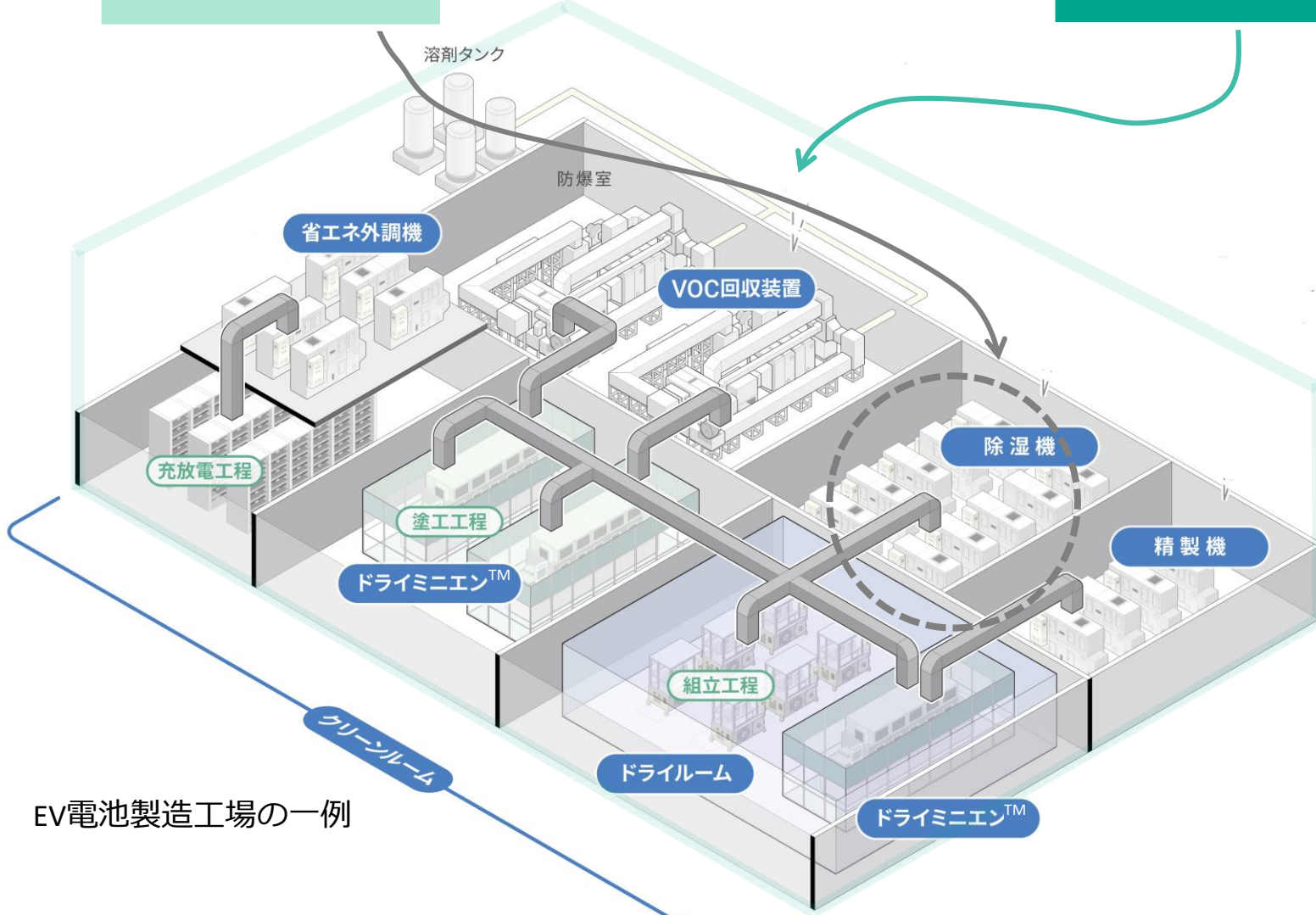
電池製造のあらゆる工程の最適環境を創出

装置・機器販売

デシカント除湿機
製造工程の湿度制御

ソリューション提案

トータルエンジニアリング
電池製造の最適空間創出



EV電池製造工場の一例

電池の生産環境の
トータルエンジニアリングを
ワンストップで提供できる
唯一無二のプロバイダー

- 生産量拡大に伴うエネルギー、時間、材料のロスを実社の環境制御技術により解消
⇒顧客のReduce、Reuseに貢献
- 最適な空間・ライン設計によりエネルギー効率を向上
⇒顧客のReduceに貢献



2026年にかけての成長パイプライン

ソリューション提案により1物件あたりの額が拡大傾向

2023年度
受注

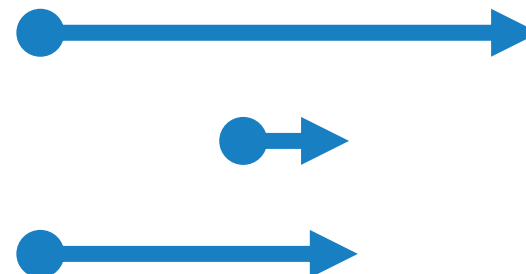
2024年度
計画

2025年度
計画

2026年度
計画

装置・機器販売

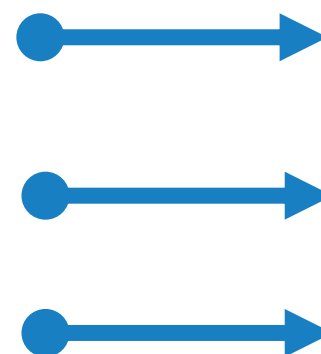
- 日本 EV用電池
デシカント除湿機 5億円
- 欧州 EV用電池
デシカント除湿機 5億円以上
- 欧州 EV用電池
NMP回収装置 10億円 x 2件



CAGR
20-26
15.6%

装置・機器販売
+
ソリューション提案

- 北米 EV用電池
デシカント除湿機 20億円
+エンクロージャー、N2精製機 5億円
- 日本 EV用電池
デシカント除湿機、NMP回収装置、
エンクロージャー 26.5億円
- 日本 EV用電池
ドライルーム、NMP回収装置 8億円



CAGR
20-26
37.9%



電池領域のアクションプラン

1. 北米市場シェア拡大に注力

- ターゲット：北米市場に投資する日系及び韓国系電池メーカー、及び北米現地電池メーカー（EVメーカーとのJV含む）
- 施策：
 - ・ 営業活動の展開
 - ・ 現地生産体制の確立（調達先確保、組立工場稼働）
 - ・ 現地協力会社との連携によるサービス供給体制の構築

2. 除湿ローターの交換によるサービス事業拡大

- ターゲット：既存顧客（主に中国）
- 施策：
 - ・ 交換需要を喚起するための営業活動の展開

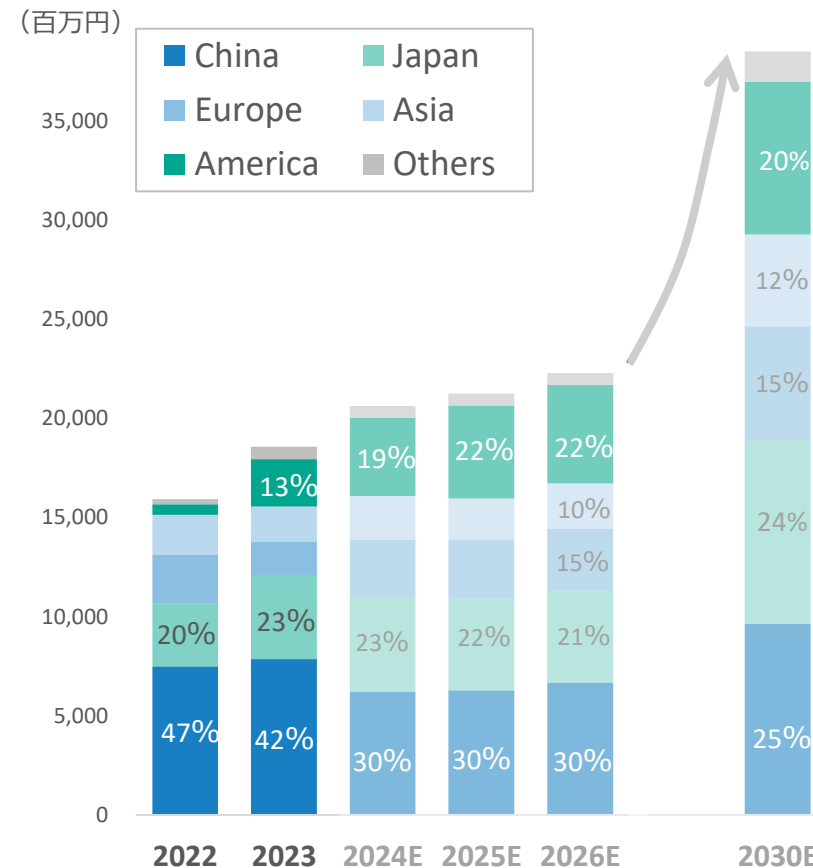
3. 電池製造及び次世代電池開発の最適環境のソリューション提案の推進

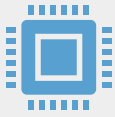
- ターゲット：電池メーカー（日本、韓国、北米、欧州）
- 施策：
 - ・ 包括的ソリューション提案
 - ✓ 供給露点温度 -90 °C DPまで対応可能なドライルーム
 - ✓ 超低露点 -60 °C DP以下の空間を実現するドライミニエン™
 - ✓ 溶剤の再利用を実現する溶剤回収システム
 - ・ 現地施工パートナー企業との提携

4. 競争力向上

- 施策：
 - ・ 除湿ローターの性能向上
 - ・ デシカント除湿機の部材内製化等によるサプライチェーン強化

当社除湿機売上高の地域別内訳推移

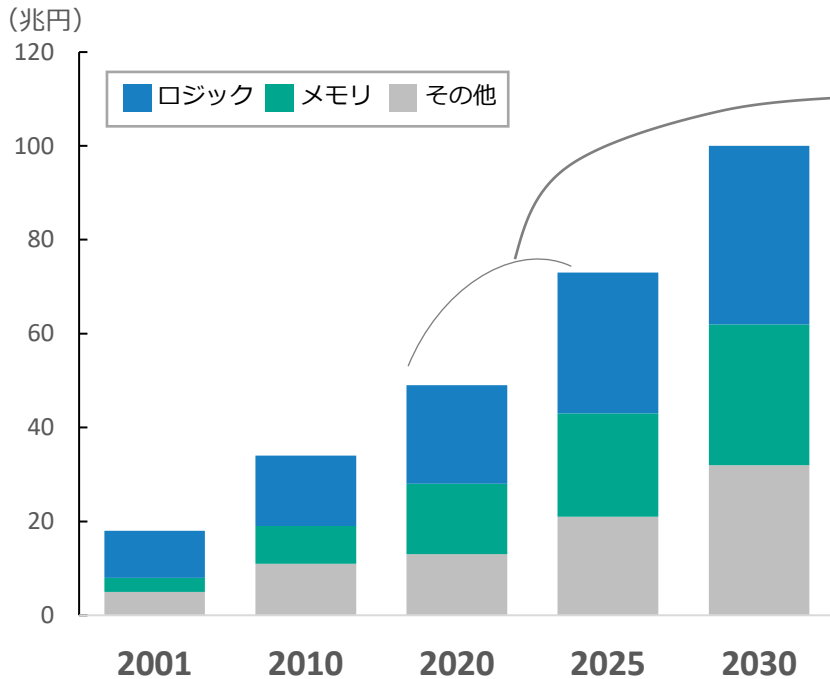




半導体市場の成長予測

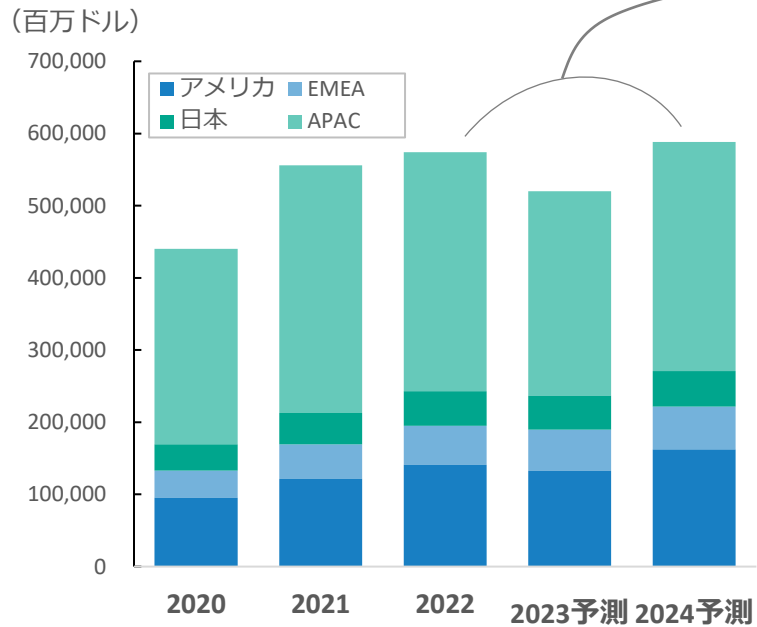
今後10年間は半導体市場の継続的な伸びが見込まれている。
2024年の製造工場投資は、米国、欧州・中東、韓国で前年からの増加が見込まれている。

世界の半導体市場



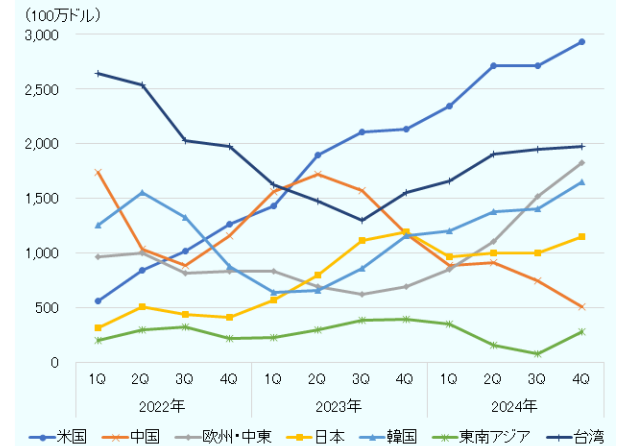
出典：経済産業省『資料5：世界の半導体市場と主なプレーヤー』（2021年3月、2019年為替レート：1USD=110円、1ユーロ=125円）をもとに当社作成

世界地域別市場予測



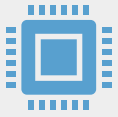
出典：世界半導体市場統計(WSTS)「2023年秋季半導体市場予測について」[世界半導体市場統計 \(WSTS\) \(jeita.or.jp\)](http://jeita.or.jp) より当社作成

世界の半導体前工程の製造工場建設に関わる投資額



出所：SEMI（2023年3月）、World Fab Forecast 1Q 23 Edition

出典：JETRO「2023～2024年の世界半導体市場の見通しと米国の戦略」(2023年) [2023～2024年の世界半導体市場の見通しと米国の戦略 | 半導体競争、技術覇権を制するのは - 特集 - 地域・分析レポート - 海外ビジネス情報 - ジェトロ \(jetro.go.jp\)](https://www.jetro.go.jp/press/20231129_01.html) から抜粋



半導体領域での当社の戦略的方向性

- ① 現在売上全体の7%を占める海外サービス売上を2026年から本格拡充し、安定的収益確保
- ② 半導体材料製造に最適なクリーン環境のソリューション提案

装置・機器販売

VOC濃縮装置

製造工程で発生する排ガス浄化



装置・機器販売

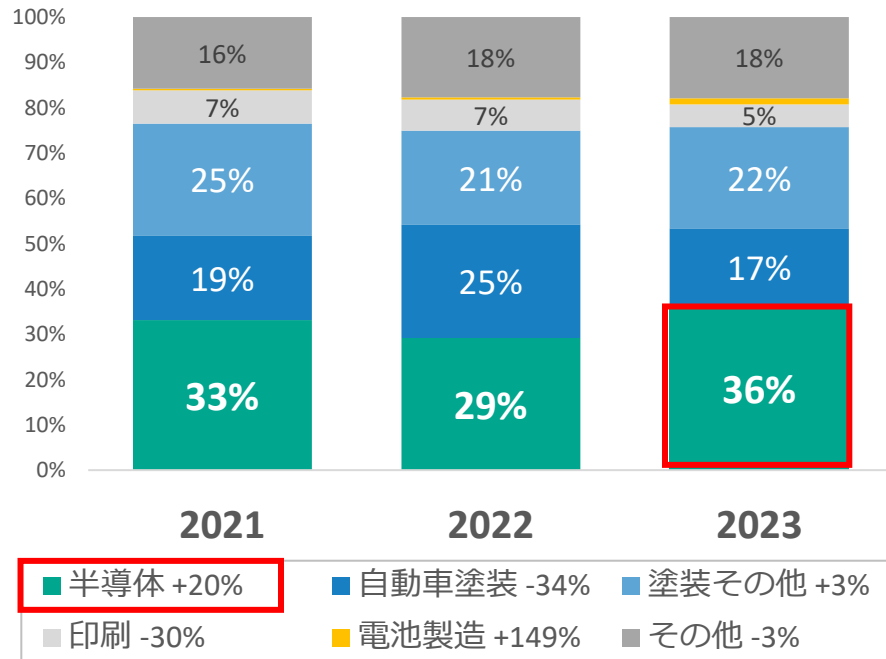
+

ソリューション提案

Class1対応クリーン空間

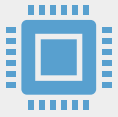
半導体材料製造の最適空間創出

当社売上の用途別内訳推移



クリーン・コンサルテーション

1. シミュレーションによる汚染原因の解明
ヒアリングや現場確認を行い、気流設計指針を提案
2. シミュレーションによる汚染リスク・原因予測と対策の提案
機器・装置設置条件で流体解析し、理想的な気流の流れを設計
3. 実測による詳細検証
微粒子可視化システム等により、気流の計測及びパーティクルの可視化
問題発生時、データ分析や流体解析等により、改善提案



半導体製造のあらゆる工程の最適環境を創出

装置・機器販売

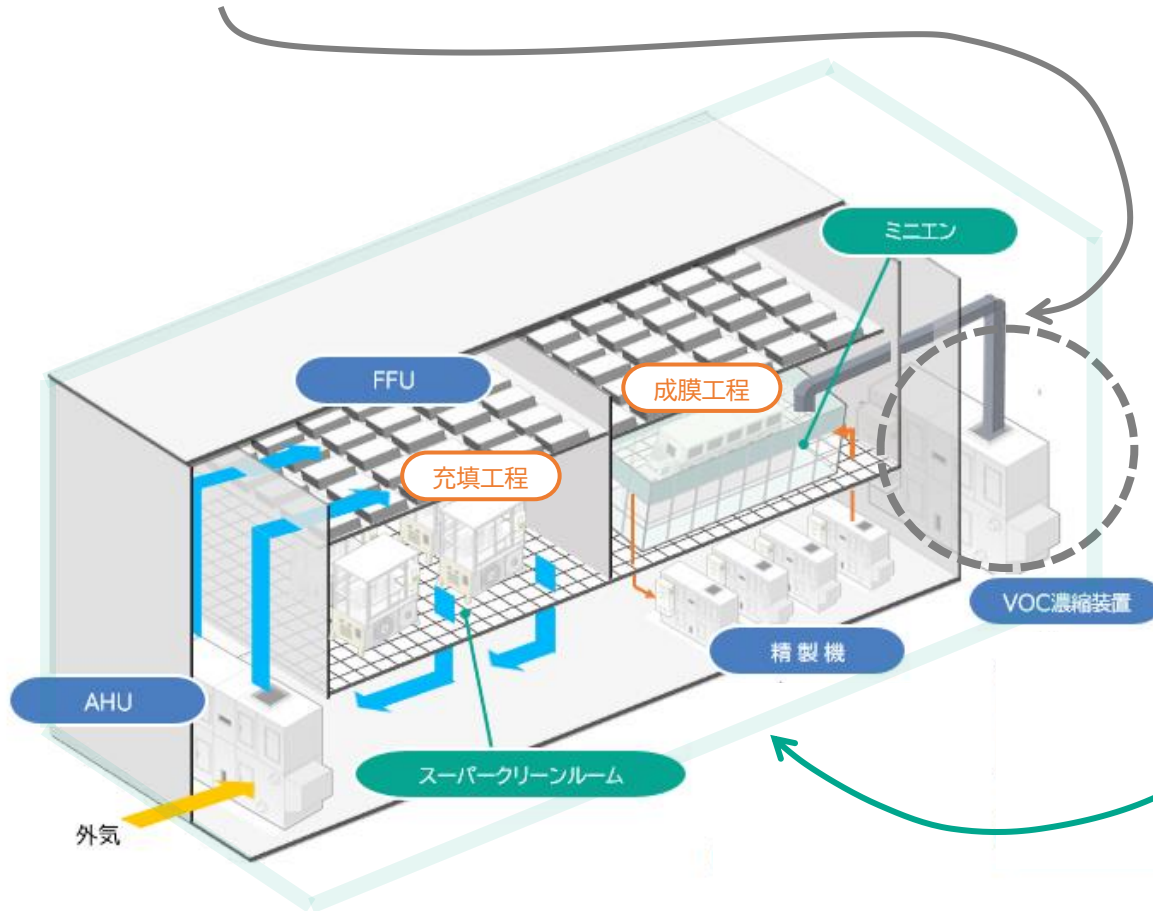
VOC濃縮装置

生産工程から排出される有害物質を処理

ソリューション提案

クリーンエンジニアリング

半導体材料製造の最適空間創出



半導体材料の生産環境を省スペース・省エネ化して提供できる唯一無二のプロバイダー

清浄度だけでなく、温度、水分濃度を精密に管理した最適環境のトータル提供

● 精製機

ブース内のガスを循環させ、水分濃度と酸素濃度が1 ppm以下の窒素環境を構築

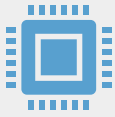
● スーパークリーンルーム

装置稼働時でも目標清浄度を達成するクリーン空間を提案

● ミニエン

半導体材料の生産工程を省スペース・省エネ化

半導体製造工場の一例



半導体領域のアクションプラン

1. VOC濃縮ローターの交換によるサービス事業拡大

- ターゲット：既存顧客（中国、台湾、韓国）
- 施策：
 - 交換需要を喚起するための営業活動の展開
 - 現地協力会社との連携によるサービス供給体制の構築

2. VOC濃縮装置のサプライチェーン強化

- ターゲット：中国、韓国、欧州
- 施策：
 - 主要部材のストックオペレーションによるリードタイム短縮
 - 製缶、部材の内製化による5~10%の原価低減

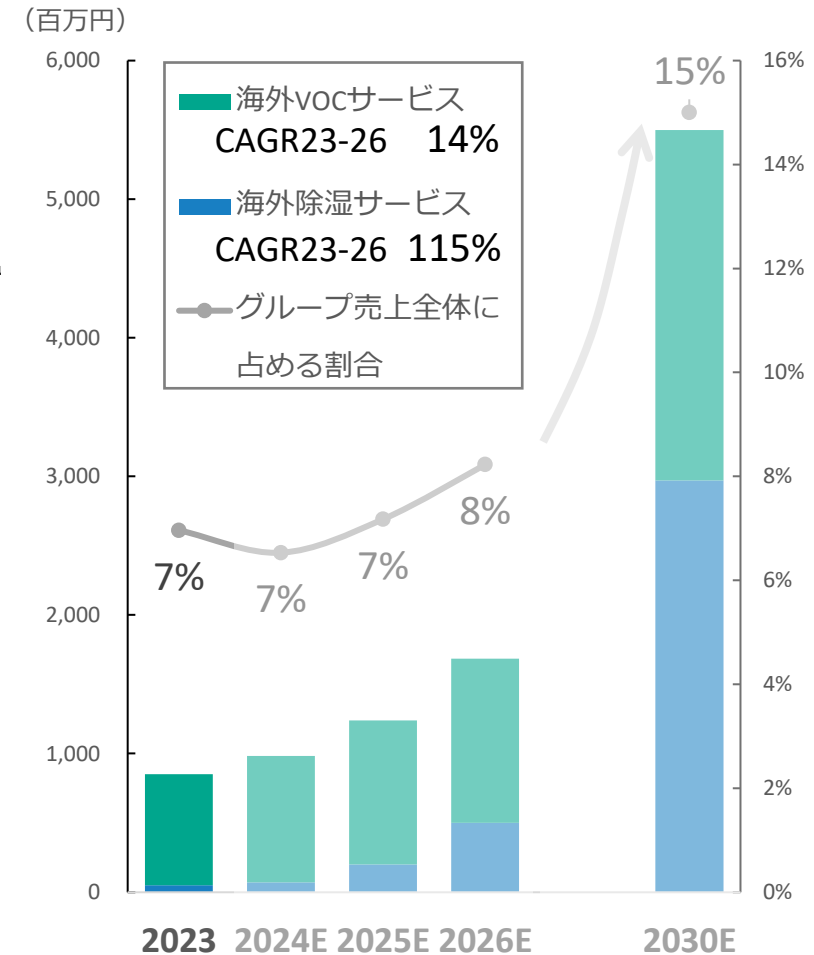
3. 半導体材料製造の最適環境のソリューション提案の推進

- ターゲット：半導体材料メーカー（日本、韓国）
- 施策：
 - 包括的ソリューション提案
 - ✓ 環境エンジニアリング
 - ✓ ISO Class1対応クリーンルーム

4. 新規市場参入

- ターゲット：大気汚染が深刻なエリア（インド、東南アジア）
- 施策：
 - ターゲットエリアの現地協力会社探索と提携

海外サービス事業の成長予測



既存

- 食品、医薬品、再生エネルギー発電
- 自動車・船舶塗装、グラビア印刷

世界市場トレンド

- 世界的高齢化
- 食糧不足の危機
- 脱炭素化

当社が提供する価値

デシカント除湿機

- 最終製品の安全性担保
- 製造工程のロス削減
- 効率的な稼働
- メンテコスト削減

VOC濃縮装置

- ランニングコスト低減
- CO2排出量削減

既存の販売網を通じて継続的に伸ばす

新規

- 農業（グリーンハウス）

世界市場トレンド

- 脱炭素化
- 就農者不足、スマート農業
- 食糧不足の危機

当社が提供する価値

CO2供給装置

- 収穫量増加
- 化石燃料不使用の方策による環境負荷低減

省エネ型換気装置（Green Save）

- 光熱費削減
- 害虫侵入防止
- CO2排出量削減

2027年に年間10億円の事業規模を目指す

Environment



01. 2050年のネットゼロを目指した中期的対策活動として、再エネ導入及び省エネ設備活動を推進
02. 当社製品は顧客の環境負荷削減に寄与するため、各製品の削減貢献量やライフサイクルを通しての排出量を定量化
03. 廃棄物の削減、当社製品の環境配慮設計や中長期的な生産環境改善等の取組み

Society

ダイバーシティ等に関する取組み

- 男女協働：企業内保育所「はにかむほいくえん」運営、男性の育児休業取得率向上、新卒社員採用時における男女比率1:1
- 外国籍社員の採用と障がい者の活躍推進
- 階層別教育に加え、自律的に学ぶ人材への教育機会の提供、自己啓発支援



Governance

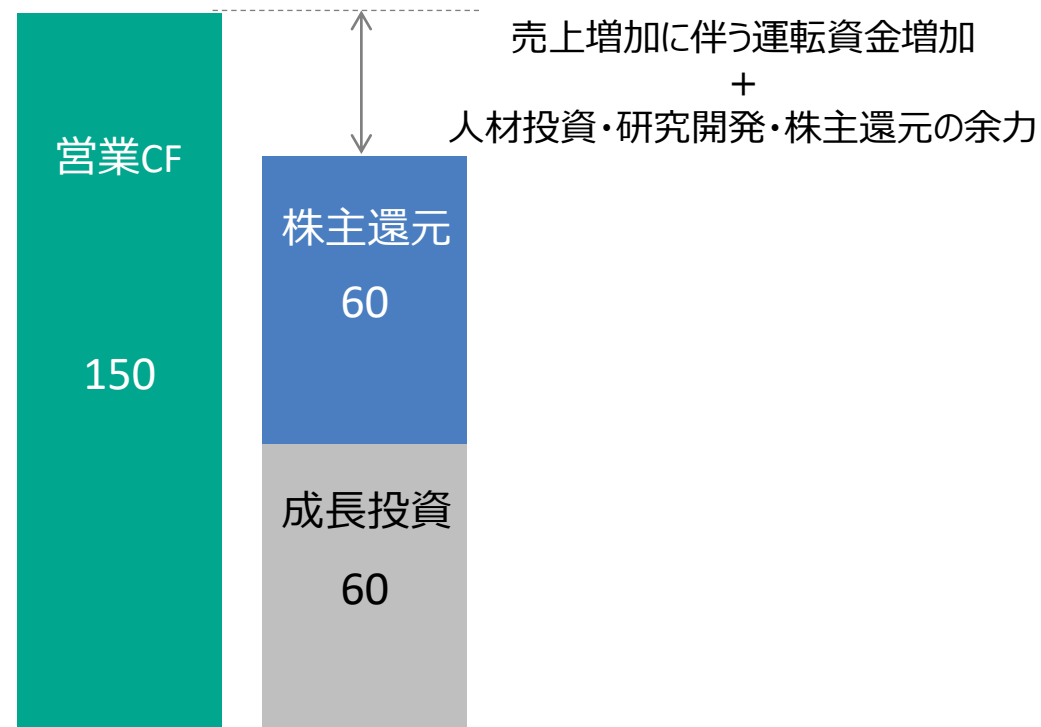
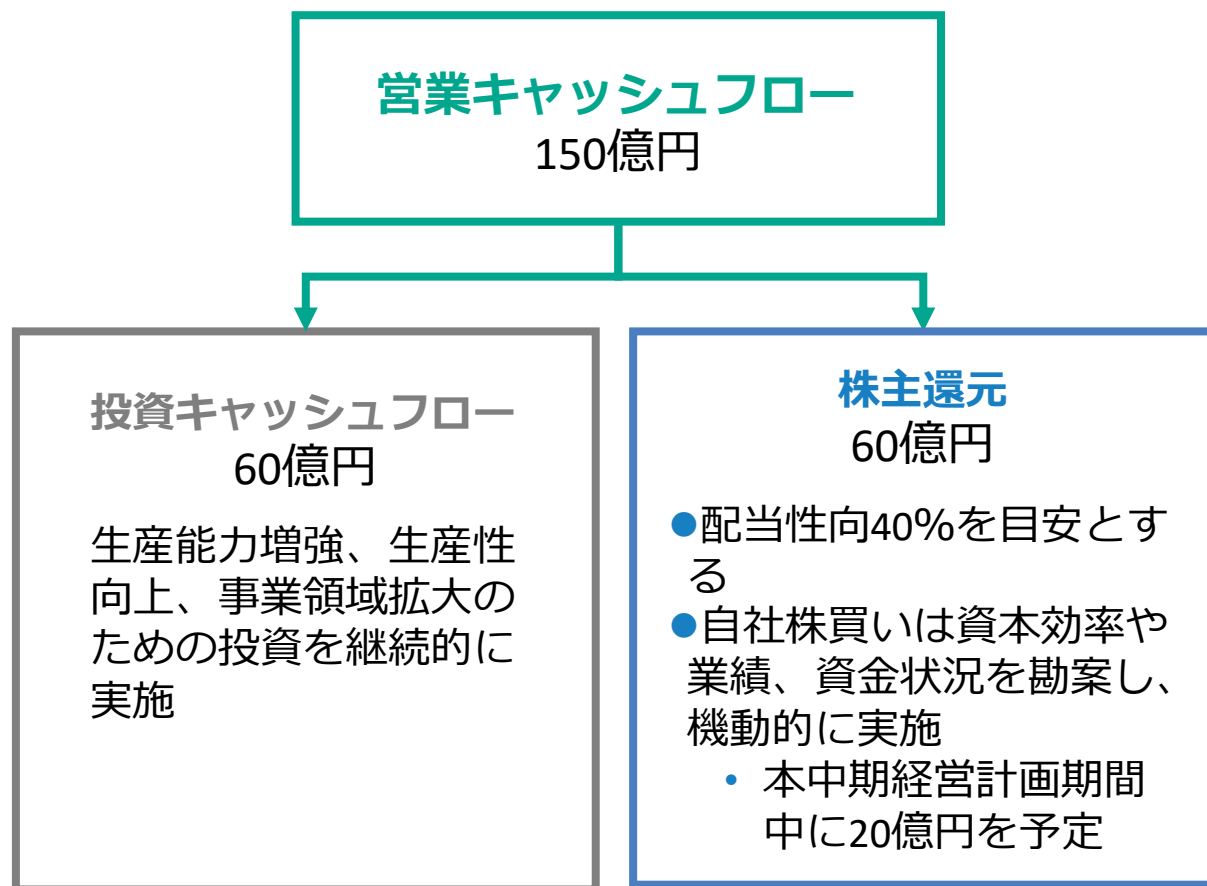
グループガバナンス強化に注力

- 中期経営計画の戦略を確実に実行するため、進捗管理と対策を協議するGlobal Management Councilを年2回実施
- 市場動向把握及び予実管理をグループ全体で徹底させるため、子会社と定期業績報告会を実施
- 委任型執行役員制度の導入

株主還元

株主還元は配当を基本とし、利益成長と資本効率の状況に合わせて自社株買いを実施する

資金の源泉と使途計画（2024～2026年度の3年間）



参考資料



キャッシュ・フロー推移

(単位：百万円)	2021年/12月期	2022年/12月期	2023年/12月期
営業キャッシュ・フロー	3,396	3,349	2,000
投資活動キャッシュ・フロー	268	▲ 595	▲ 2,340
フリー・キャッシュ・フロー	3,664	2,754	▲ 340
財務活動キャッシュ・フロー	▲ 876	▲ 818	1,801
現金及び現金同等物の期末残高	7,388	9,517	11,417

2023年/12月期 四半期実績

	2023年/12月期 Q1		2023年/12月期 Q2		2023年/12月期 Q3		2023年/12月期 Q4	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
(単位：百万円)								
売上高	6,214		6,395		7,688		8,425	
売上総利益	2,657	42.8	2,757	43.1	2,895	37.7	2,858	33.9
販売費および一般管理費	1,544	24.9	1,713	26.8	1,810	23.6	1,800	21.4
営業利益	1,113	17.9	1,043	16.3	1,084	14.1	1,057	12.5
経常利益	1,113	17.9	1,174	18.4	1,082	14.1	991	11.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	861	13.9	957	15.0	788	10.3%	824	9.8
1株当たり四半期純利益（円）	46.39		51.56		42.48		39.71	
EBITDA ^{*1}	1,324		1,262		1,314		1,290	
EBITDAマージン ^{*2} （%）	21.3		19.7		17.1		15.3	

*1: EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 にて算出

*2: EBITDAマージン = EBITDA/売上高

2023年/12月期 四半期 製品別および地域別売上高

製品別

(単位：百万円)	2023年/12月期 Q1	2023年/12月期 Q2	2023年/12月期 Q3	2023年/12月期 Q4
デシカント除湿機	4,398	3,677	5,166	5,309
VOC濃縮装置	1,308	1,702	2,069	2,224
その他	507	1,016	452	892
合計	6,214	6,395	7,688	8,425

地域別

(単位：百万円)	2023年/12月期 Q1	2023年/12月期 Q2	2023年/12月期 Q3	2023年/12月期 Q4
日本	1,314	1,058	1,297	3,518
中国	2,517	2,926	4,285	1,877
その他アジア	907	850	909	1,152
ヨーロッパ	717	701	510	617
北米	689	811	637	793
その他	67	48	48	465

2023年/12月期 四半期受注高および受注残

受注高

(単位：百万円)	2023年/12月期 Q1	2023年/12月期 Q2累計	2023年/12月期 Q3累計	2023年/12月期 Q4累計
デシカント除湿機	5,140	9,515	15,657	25,823
VOC濃縮装置	3,914	5,209	6,288	8,032
その他	655	1,158	1,892	2,691
合計	9,710	15,883	23,837	36,548

受注残

(単位：百万円)	2023年/12月期 Q1*	2023年/12月期 Q2*	2023年/12月期 Q3	2023年/12月期 Q4
デシカント除湿機			8,007	12,833
VOC濃縮装置			4,873	4,305
その他			871	780
合計			13,752	17,919

注*：上場前につき未集計

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円)	2022年/12月期 実績	2023年/12月期 実績	2024年/12月期 通期見通し
設備投資	905	957	1233
減価償却費	896	893	945
研究開発費	276	302	355